

## 【血液検査】

### 肝・胆・膵臓検査

- ①総蛋白 (TP)、A/G比、アルブミン：血液中の蛋白の状態をみる検査。肝臓や腎臓の機能に関係します。
- ②蛋白分画：血清蛋白を構成している種々の成分量を調べます。M蛋白や、特定の蛋白欠損・低下のスクリーニング検査。
- ③総ビリルビン：肝機能(黄疸)の検査。
- ④AST、ALT：ALTは肝臓のみ、ASTは肝臓のほか心筋や骨格筋にも含まれる酵素です。おもに肝障害の有無を調べる検査ですが、ASTは心筋梗塞や筋炎、溶血性貧血でも上昇します。
- ⑤ $\gamma$ -GTP：肝臓の検査。胆道系酵素の一つ。アルコールに影響されやすく過度の飲酒で上昇します。
- ⑥LDH：肝臓に最も多く含まれますが、骨、心筋、骨格筋、血球にも存在。肝炎、血液疾患、心筋梗塞などで上昇します。
- ⑦ALP：骨、肝臓に含まれる酵素。胆道系酵素の一つ。肝疾患のほか、骨疾患や甲状腺機能異常でも上昇します。
- ⑧コリンエステラーゼ：肝臓で産生される蛋白。肝硬変や低栄養で低下します。
- ⑨アマラーゼ：膵臓、唾液腺で分泌される消化酵素。膵炎や唾液腺疾患で上昇。体質的に数値が高い人もいます。

### 肝炎検査

慢性のウィルス性肝炎のほとんどはB型肝炎かC型肝炎のいずれかです。近年、慢性ウィルス性肝炎の治療法は大きく進歩しています。もし今までに一度も検査を受けたことがなければ、一生に一度は検査をお受けください。

#### 1) B型肝炎

- ①HBs抗原  
陽性はB型肝炎ウイルスに感染していることを示します。ウイルスを持っているだけの無症候性キャリアが多いですが、全体の10%位の人が慢性肝炎になると言われています。陽性の場合、現在の状態を知るため、更に詳しい検査が必要です。必ず受診してください。
- ②HBs抗体  
過去に急性肝炎の既往のある方、あるいはB型肝炎ワクチンの接種後の方が陽性となります。この抗体の陽性者は、B型肝炎に再度感染するリスクは低いと考えられます。

#### 2) C型肝炎：HCV抗体

陽性はC型肝炎ウイルスに感染している可能性があることを示し、HCV-RNA検査という詳しい検査が必要です。C型肝炎は慢性肝炎・肝硬変・肝がんへと移行しやすく、治療が必要です。

### 電解質：Na, K, Cl, Ca, P

身体の約60%を占める体液のバランス異常がないかをみる検査です。異常を認めた際は、副甲状腺機能異常や、下垂体機能異常などが潜んでいる可能性があります。

### 感染症・炎症

- ①CRP：炎症や組織破壊で血液中に増加するたんぱく質です。
- ②RF (リウマチ因子)：主に関節リウマチの検査ですが、正常の方でも5%くらい陽性に出ることがあります。
- ③梅毒検査(TPLA法、RPR法)：RPR法では、梅毒以外の疾患でも陽性を示すことがあります。

### 血液学的検査

- ①白血球：主に免疫機能に関与する、好中球・リンパ球・単球・好酸球・好塩基球の総称です。感染症や白血病、膠原病などが隠れていないかを調べます。
- ②赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット：貧血や多血症を診断します。
- ③血小板：止血作用に関与します。血液の病気や肝硬変などの発見につながります。
- ④末梢血液像(白血球分画)：白血球の形態異常の有無や比率をみます。

### 尿酸

痛風とは、尿酸が針状の結晶となり関節にたまり起こる炎症です。高尿酸血症は、尿路結石や腎障害の原因にもなります。

### 腎機能検査

- ①尿素窒素(BUN)：タンパク質が分解されるときにできる老廃物の一種です。腎機能の低下、脱水や消化管出血、高蛋白食で高値となります。
- ②血清クレアチニン：筋肉に含まれるクレアチンというたんぱく質が、エネルギーとして使われた後の老廃物です。BUNもクレアチニンも腎臓から尿中に排泄されますが、腎機能が低下すると、排泄が低下し血液中で増加します。
- ③eGFR：血清クレアチニン、年齢、性別から推算します。低値のときに、腎機能の低下が疑われます。尿蛋白検査とともに、慢性腎臓病(CKD)のスクリーニング検査です。